



第 4 号

昭和33年10月10日印刷
昭和33年10月20日発行

発行所
宇都宮市旭町1-3-427
宇都宮商工会議所
電話 2,622 3,072番
2,905

編集者兼
発行者 藤生善之助
印刷者 秋場栄吉
宇都宮市旭町2丁目
印刷所 三共印刷株式会社
電話 4,006・6,481番

定期議員総会

九月十九日開催

出席議員

上野小七、保坂正七、小保方光三、粕谷松一郎、
上野美治、福田富次郎、荒牧春三郎、設楽高治、
鈴木善助、横倉良夫、笠間盛一郎、亀田豊房、江
田正助、安久都忠徳、坂本久吾、木村明、箕輪忠
次郎、鈴木良一（十八議員）

委任状によるもの

平野長次郎、山崎国雄、井出英次、田辺正平、薄
井留松、山口浪四郎、福田治、荒井祐治、長岡二
郎、笠原正一郎、渡辺俊、小平藤十郎、須藤恒次
郎、朝倉初男、石海勇次郎、柳田広（十六議員）

議事の要領

上野会頭議長席につき開会の挨拶を述べ出席者三
十四名にして定足数に足したるによりこれより議
事に入る旨を告げ、議事審議に先立ち議事録署名
人について議場に諮りたるに議長指名となり、よ
つて議長は福田富次郎、箕輪忠次郎の二議員を指
名し直ちに議案審議に入る。

第一号議案 昭和三十二年事業報告書承認の件

議長、事業報告書の大要を説明し異議なきや否や
を議場に諮りたるに議場異議なく可決確定せり。

「議長説明概要」

昭和三十二年度は当所議員の選挙執行の時に当り
たる処緊張のうちにも選挙を用いずして円満裡に
定員滞りなく当選決定した事は洵に幸いである。
県都宇都宮市の玄関である国鉄宇都宮駅は昭和二
十五年以来国鉄本庁と宇都宮市長との間に改築の
計画が進められていたのであるが、当所は市長の
懇請により昭和三十二年二月当所議員並びに実業
界有志が発起人として株式会社宇都宮駅デパート
の創立を見、本年三月駅舎竣工と共に華々しく開
業をするを得ました事は誠に感激一方ならぬもの
があります。

1

その間県市御当局並びに関係各位の絶大なる御援
助と御指導に対し深く感謝の意を表する次第であ
ります。
次に本年四月には本会議所が栃木県、宇都宮市並

に關係諸団体と共に実現を念願し、多年に亘り運

動を続けて参りました東北本線電化が市民歓呼の
うちに開通いたしました。本県交通界に一大変革
をもたらす事は洵に欣快に堪えません。

更に県当局に於ては本県産業発展のため企業地振
興計画を立案せらるゝ目的を以て、わが国経済界
の権威者である諸先生方を栃木県商工顧問団に依
嘱し、本県経済界の基礎資料作成のため企業地振
興対策実態調査を実施せられました。本所は審議
会委員の一員として、また事務局はこれが実地調
査の達成に全面的に協力致しました。

また中小企業の問題たる「中小企業団体の組
織に関する法律」の施行につき、或いは従業員定
休制度、退職金制度等に関する問題については
ち早く採りあげ調査研究をなすと共に商店街その
他の組合を通じ座談会、研究会等を開催しPRに
努め、一面これ等諸事の直結と円満なる運営を期
するため、宇都宮商店街連盟の設立をたすけ、密
接不離なる機関を設けました。

なおかねて企画研究してききました商工図書室を設
け、経済人の便宜を図り大いに活用されている次
第であります。

以上の如く広範囲なる事業に活潑なる活動をしつ
ゝありますが、対外的には日本商工会議所常議員
栃木県商工会議所連合会々頭の要職を始めとし、
県市工場誘致委員町村合併審議会委員、国鉄貨物
協会宇都宮支部長、発明協会、観光協会、その他
各種団体の役員に就任して、その事業に参画し、
公正なる意見を表明して常に経済界発展に寄与し
つゝあります。（以下略）

第二号議案 昭和三十二年度貸借対照表収支決算書 財産目録承認の件

議長、五味専務理事をして内容各費目について詳
細説明をなさしめ、異議なきや否やを議場に諮り
たるに満場異議なく可決確定せり。

なお横倉監事は諸帳簿証憑書類を詳細に互り監
査したる結果正確であつた旨の報告をなせり。

昭和32年度収支決算書

(昭和32年4月1日(土)迄)
(昭和33年3月31日(金)迄)

宇都宮商工会議所

収入の部

(単位円)

款	項	本年度決算額	本年度予算額	対比増減(△)	備	考
1. 会費	1. 会費	2,087,600	2,340,000	△ 252,400		
	2. 過年度会費	2,087,600 0	2,240,000 100,000	△ 152,400 △ 100,000		法人 2,670円 個人 312円 1,869,000円 218,400円
2. 交付金	1. 補助金	661,000	511,000	△ 150,000		国庫 240,000円 県庫 121,000円 市 300,000円
	3. 事業収入	949,169	980,000	△ 30,831		決算仮定試験受給料収入
4. 手数料使用料	1. 手数料使用料	178,037	210,000	△ 31,963		商工振興事業関係収入
	5. 寄付金	104,720	200,000	△ 95,280		事業に対する寄付金
6. 雑収入	1. 預金利息	102,748	50,000	△ 52,748		預金利息
	2. 雑収入	2,060	2,000	△ 60		その他雑収入
7. 繰越金	1. 繰越金	25,562	49,000	△ 23,438		前年度繰越金
	合計	4,108,836	4,340,000	△ 231,164		

支出の部

款	項	本年度決算額	本年度予算額	対比増減(△)	備	考
1. 給与費	1. 給料	1,158,210	1,100,000	△ 58,210		不足額58,210円(予備費より流用)
	2. 諸給	605,510	580,000	△ 25,510		職員給料12ヶ月分(6名分)
	3. 賞与	385,000	385,000	△ —		手当及び雑給
	4. 報酬	127,700	110,000	△ 17,700		職員賞与
2. 旅費	1. 旅費	54,300	70,000	△ 15,700		嘱託報酬
	1. 借地料	104,813	126,000	△ 21,187		役員旅費
3. 家屋費	1. 借地料	26,388	27,000	△ 612		市有地借地料
	2. 管理費	23,243	49,800	△ 26,557		修繕費
	3. 管線費	47,682	30,000	△ 17,682		光熱費、水道料
	4. 保険料	7,500	19,200	△ 11,700		火災保険料
4. 事務局費	1. 通信運搬費	211,119	300,000	△ 88,881		電話料、郵便料その他運搬費
	2. 消耗品費	62,801	90,000	△ 27,199		電話料、郵便料その他運搬費
	3. 図書費	79,138	100,000	△ 20,862		諸用紙文具類
	4. 印刷費	24,410	31,000	△ 6,590		官公報、新聞その他図書費
	5. 什器費	30,440	26,000	△ 4,440		印刷費
	6. その他諸費	14,330	38,000	△ 23,670		備品購入及び修繕費
合計	0	15,000	△ 15,000		諸消耗品費	

5. 会議費	1. 会議費	48,805	100,000	△	51,195	議員総会、役員会、部会 その他会費
6. 一般事業費		1,953,998	2,000,000	△	46,002	中小企業相談所関係費 721,442円 商工振興技術普及関係費 343,171円 講習会研究費 64,570円 関係費 51,760円 阪路抵振信託費 407,707円 観光宣伝簡取手牌旋費 12,393円 その他事業費 552,955円
7. 交際費	1. 交際費	39,342	60,000	△	20,658	
8. 公課分担金	1. 公課分担金	139,868	150,000	△	10,132	日商会費、連合会費その他
9. 厚生費	1. 福利厚生費	85,906	75,000	△	10,906	職員社会保険料 不足額 10,906円予備費より流用
10. 退職給与資金積立金特別会計繰入	退職給与資金積立金特別会計繰入	110,000	110,000	—	—	職員退職給与積立金
11. 法定台帳管理費	1. 法定台帳管理費	16,885	104,000	△	87,115	法定台帳管理費補填金
12. 雑費	1. 雑費	28,275	50,000	△	21,725	
13. 予備費	1. 予備費	20,000	95,000	△	75,000	弁護料 20,000円 第1款給与費流用額 58,210円 第9款厚生費流用額 10,906円
合	計	3,971,521	4,340,000	△	368,479	
収入支出比較表						
収入決算額	支出決算額	差引	残高	備	考	
4,108,836円	3,971,521円	137,315円	次年度に繰越			

昭和32年度退職資金積立金収支決算書

(昭和32年4月1日より
昭和33年3月31日まで)

宇都宮商工会議所

(単位円)

款	項	本年度決算額	本年度予算額	対比増減(△)	備	考
1. 退職資金積立金	1. 繰越金	557,943	547,582	10,366		前年度繰越金
	2. 本年度積立金	447,948	437,582	10,366		本年度積立金
2. 利子	1. 利子	8,394	3,000	5,394		預金利子
	計	566,342	550,582	15,760		

支出の部

款	項	本年度決算額	本年度予算額	対比増減(△)	備	考
1.退職給与金		65,800	550,582	△	484,782	
	1.退職給与金	65,800	550,582	△	484,782	退職者1名分給与金
合	計	65,800	550,582	△	484,782	

収入支出比較表

収入決算額	支出決算額	差引	残高	備	次年度へ繰越	考
566,342	65,800		500,542			

財産目録

(昭和33年3月31日現在)

物	件	金	額	備	考
1. 建物			12,000,000		
2. 什器			800,000		
3. 図書			73,000		
4. 預金			506,918		
5. 現金			130,939		
合	計		13,510,857		

貸借対照表

(昭和33年3月31日現在)

貸方(負債)		借方(資産)	
種目	金額	種目	金額
1. 積立金	500,542	1. 建物	12,000,000
2. 残存金	13,010,315	2. 什器	800,000
合	計	3. 図書	73,000
	13,510,857	4. 預金	506,918
		5. 現金	130,939
		合	計
			13,510,857

種目	金額	備	考
1. 建物	12,000,000		
2. 什器	800,000		
3. 図書	73,000		
4. 預金	506,918		
5. 現金	130,939		
合	計		
	13,510,857		

第三号議案 専務理事辞任に伴う補欠選任の件

議長 本日専務理事五味啓四郎氏が都合により辞任致しましたので、その後任に藤生善之助氏を専務理事に選任致したいと諮りたるに満場異議なく可決確定せり。

第四号議案 常議員補欠選任の件

議長 常議員藤生善之助、坂本守両氏の辞任に伴う補欠選任について議場に諮りたるに、議長指名

となりよつて議長は須藤恒次郎、渡辺俊両議員を指名したるに満場異議なく可決確定せり。

その他

1 保坂副会頭より宇都宮市内幹線道路等改修工事について当議員総会の決議により関係官庁にそれぞれ促進方を陳情してはとの緊急提案あり満場異議なく同意せり。

よつて左記の通り陳情書作製それぞれ提出せり。



市内幹線道路等改修工事促進方陳情書

宇都宮市の交通量は近來頗にその量を増加し舗装の破損等甚だしきものがありますが御当局の御理解にて逐次改修工事に着手せられております事は市民の等しく喜びとしている次第であります左記の幹線道路等改修につき長期に亘る通行止又は片側通行は交通者並びに附近商店街に及ぼす影響極めて甚大でありまして附近商店の死活問題とも相成る現状に鑑みまして是非共早期改修と相成りますよう之が工事の促進方御考慮賜り度当会議所議員総会の決議に基づき陳情申上ぐる次第であります。特別の思召しを以つて促進方何卒御取り上げ下さるよう御願ひ申し上げます。

記

- 一、市内西原町眼鏡橋かけ替工事
 - 一、市内清住町本郷町通り舗装改修工事
 - 一、市内今泉町八坂神社附近舗装改修工事
 - 一、市内大谷街道舗装改修工事
- 以上

宇都宮商工会議所

会頭 上野 小七

昭和三十三年九月二十二日

関係官庁宛

- 2 前専務理事五味敬四郎氏を当所参与に推薦し事業運営に協力を願うことに満場一致で可決せり。
 - 3 商工図書室について
現在第三会議室にある商工図書室は会議中使用が出来ない不便があるので二階小室に移し利用度を上げたいと図りたるに満場の承認を得たり。
 - 4 前専務理事五味啓四郎氏退任の挨拶、新専務理事藤生善之助氏就任の挨拶ありたり。
- 議長 以上を以て本日の議案全部を終了したる旨を告げ閉会を宣す。

商工業者の施設改善資金

貸付幹施はじまる

上野会頭のきも入りで

金融機関の協力を得

当市に於ける大通り拡張、区劃整理に伴う商店街の整備は一応完了したものの一層の充実を図るためこれ等商店の店内改装等幾多の問題が残されており工業方面に於ても作業場改造工員厚生施設の拡充等長期資金の必要に迫られている事は事実で折から当所商工業部会員の強き要望と会頭の企画と相俟つて金融部会所属の金融機関の理解のもとに順調に話し合いが進み十月一日より幹旋業務を開始する運びとなつた事は当会議所事業の一步前進ともいへく今後の声価を期待してやみません。

奮つて御活用を

商工業施設改善資金貸付幹旋要項

商工業施設改善資金は管内中小商工業者の経営合理化と営業の活動を促進しその振興を図るため店舗及び作業場等の増改築や店内施設の新設改装等に必要資金を融資するものであります。

1 申込人の資格

この資金の融資を受けんとする方は管内に於て商工業を営む当会議所の会員で資金の用途が適切で返済能力が確実な方

2 融資の条件

A 貸付限度

最高 五十万円 最低 十万円

B 貸付期限

二年以内

C 貸付利率

当該金融機関の取扱利率とする。

D 保証人及び担保

連帯保証人一名以上又は担保を徴求或いは信用保証協会の保証をつける。

E 償還方法

貸付期限二年の場合は四ヶ月据置後二十ヶ月月賦償還、貸付期限が二年より短い場合はこれに準ずる償還方法とし繰上償還を妨げません。

3 申込受付場所

宇都宮商工会議所内中小企業相談所

4 申込の方法

この資金の融資を受けんとする方は所定の申込書二通に所要事項を記入し受付場所に申込んで下さい。

申込を受けた場合は相談員（又は企業診断員）は速かに調査をし申込書と共に審査委員会に廻付し審査決定の上本人の希望する取扱金融機関へ廻付するものとする。

5 取扱金融機関

当会議所金融部会所属の下記金融機関

- 第一銀行、富士銀行、協和銀行、日本勧業銀行
- 日本信託銀行、群馬銀行、各宇都宮支店、足利銀行宇都宮支店、同上河原支店、同県庁内支店
- 同伝馬町支店、同挽路町支店、同大谷支店、宇都宮信用金庫、栃木相互銀行

6 審査委員会

審査委員会は市、会議所、保証協会、取扱金融機関の代表者を以て構成する。

附則 昭和三十三年十月一日より実施するものとす。

以上

宇都宮商工会議所

御会合御集会には
 会議所貸室を
 御利用下さい

第四回見本市盛大に

開催さる

宇都宮商工会議所は、昭和三十年より市と共に、管内卸業振興の一策として大見本市を開催して来たが、本年は第四年目にあたり、去る九月十三、十四の二日間スポーツセンターに於て盛大に開催された。今回の参加店は四十八店で、昨年度より増加し、御案内申し上げたお得意様も二千名に達した。

先づ初日、午前九時より開場式を行い、戸田副会長の挨拶から市長代理古沢助役、上野会頭、荒牧連盟会長の激励の辞があつてから、参加店を代表して野中副会長の答辞があり、鈴木副会長の見本市万才三唱の後、約四十分で閉式したが、この頃より続々とお客様が入場する盛況振りであつた。

約三百坪に上る大会場は万国旗に飾られ、すつきりした小間造りと統一された参加店の看板は、秩序と統制の下によくこの行事が運営されていることがうかがわれ、出品された商品も一段と光彩を放つて、小売店に劣らぬ陳列振りが發揮される場面もあつた。

トヨタトラック・バス
トヨペットトラック
クラウン乗用車



宇都宮市西原町2.885

栃木トヨタ自動車株式会社

電7121~4

本年は特に接待に意を尽し、会期中午前午後との二回に亘り、正面大舞台に於て宇都宮民謡普及宮の会員約三十五名による浴衣姿の宮音頭、その他の演芸が披露され、御入場のお客様を恍惚とさせ、或いは特設された抽籤所に於ては、総当り福引の中にも、特賞現金一万円に「もしや」と心膽を揺る場面も見られて和やかな雰囲気、二日間好天候に恵まれて客の出足もよく、入場者約千五百名、商品宣伝、実演の効果、更には予約注文の殺到等が見られて参加店も張込む始末、お客様も「流石に宮ですね、何でも間に合いますね」とうなずく始末。

二日目の五時近く、最後のバスが発つ頃は、参加店の係員も役員も、何とも言えない気疲れにクタクタの態、何れ反省会には一杯やりましょう、と生氣を取り戻して、来年も頑張りますよと希望に燃える。

因に参加店は次の通りである。

- 阿部商店、山田屋商店、丸栄商店、野中商店、丸藤商事、丸中商店、三光商事、丸大商店、丸上商店、不二屋商店、林要商店、望月商店、大橋商店
- 吉長商店、鈴木商店、池田屋商店、矢島ゴム商店
- 三旺冷凍機工業宇都宮営業所、石居一郎商店、藤井産業、荒牧商店、若林商会、亀田書店、相場商店、有文堂、浅川平和堂、猪越金銭登録機宇都宮営業所、大塚商店、石川商店、小知和産業、宇都宮木材加工、レルヒ産業、栃木ヘレス販売、栃木ラビット、栃木みずしま、栃木ベンリイ、栃木ゼヤイアント、栃木トヨタモーターズ、三共物産、栃木ホンダモーター、野沢輪業、関東発動機、原山商会、小野モーターズ、飯野ロケット、高山春吉商店、土広商会、岡村近代設備、栃木ダイハツ。

交通事故防止防犯等に協力

和氣宇都宮警察署長を囲む懇談会で

八月十二日当所に於て上野会頭、荒牧連盟会長以下商店街関係者多数出席の上前記懇談会を開催、左の通り協力を申合わす。

記

- 一、交通事故頻発に鑑み商店街道路が有効に使えよう道路の清掃整頓並びに駐車禁止等道路交通取締法規厳守に協力
- 一、繁華街附近に有料駐車場設置の実現に協力
- 一、防犯については警察署との連絡通報等緊密にする
- 一、青少年の補導に意を用い従業員の不良化防止に努める。

金融部長に須藤氏を

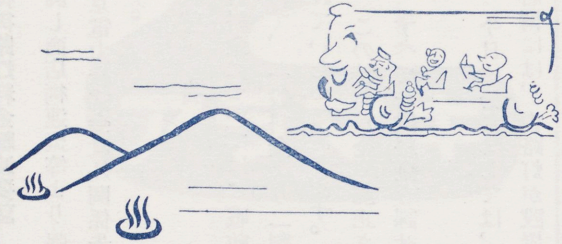
九月二十五日当所金融部会を開催し、部長に満場一致足利銀行取締役宇都宮支店長須藤恒次郎氏を選任の上本年度事業として次の通り協議せり。

金融対策

- 一、貯蓄奨励民間資本の蓄積推進
- 一、融資対策の強化促進並びに一般金利引下の推進
- 一、金融経済講演会並びに懇談会の開催
- 一、信用保証協会、中小企業五助会、中小企業金融公庫、商工中金、国民金融公庫の利用普及並びに指導斡旋

北関東初の
革命車!!
エア・サスペンション(空気バネ付)バス

行楽の秋には皆様方に御高評の
東野バスを是非……!



東野鉄道株式会社

取締役社長 矢野政男

宇都宮市一条町(電話2583・2445・2470)

一、金融制度(不動産金融)の改善に関する調査研究

一、商工業施設改善資金貸付斡旋要項に基づく会員金融機関の協力 以上

珠算指導者講習会開催

主催 栃木県商工会議所連合会

九月十三、十四日の二日間に亘り、日光市田母沢会館において県内の珠算指導者の講習会を左記講師を招き開催した。

聴講者は九十四名の多数の指導者が参加し何れも熱心に受講した。

記

- 日本商工会議所珠算技術委員 奥村恒夫先生
専修大学教授 日本商工会議所珠算技術参与 高橋明夫先生
名古屋市立女子短期大学講師 日本珠算連盟副会長

第九回和文タイピスト技能検定試験を施行

九月二十八日当所並びに日本商工会議所共催により、多数の受験者により栃木県庁において第九回和文タイピスト技能検定を施行した。

なお本検定は同日全国一斉に各地商工会議所主催で開催されたもので、次回は明年五月十日実施の予定につき奮つて御参加下さるようお願いいたします。

第五回簿記講習会開催

宇都宮商工会議所中小企業相談所は、法人会及び宇都宮市と三者共催の下に、第五回簿記講習会を開催した。

今回の講習会は、九月二日より十月十日まで毎週月、水、金の三日間、午後五時半より約二時間行つたが、受講者は、主として商店の経理担当者を対象とした。

また講師には、毎回御指導をいただいている斯界でも造詣の深い、宇都宮商業高等学校長村上武夫先生、同教諭細川威夫先生に委嘱し、現在の受講者は四十六名で何れも真面目な態度で聴講し、十月十三日閉講式を行つた。

商店街街路灯料金軽減要望

表記の件に関し商店街連盟等より強い要望がありましたので東京電力株式会社外関係先に左の通り要望書を提出せり。

要望書

商店街街路灯料金については、戦前に於ては、その公共性を認めて、一般料金より二割引の特定料金制度が採用されていたのであります。然るに戦後に於きましては、この特典が全く廃止されており、街路灯の料金は、すべて一般料金を課せられているのであります。

周知の如く、今日に於きましては、全国津々浦々の市町村の商店街には、街路灯が設置せられ、交通事故の防止、犯罪の予防、都市の美観の上に、極めて大きな貢献をしているのであり、戦後特に進歩した電気技術は、戦前に比較して、更に大きな電力消費を促していることはいうまでもありません。警察でもこれを認めて、街路灯のうち若干を保安灯に指定して終夜点灯させている地域もあってあります。街路灯の無いビル街、住宅街、工場街では、犯罪の発生率が明らかに大となつているのであります。

このように、公共的性格の強い街路灯料金が、屋内灯と同率の料金を課せられることは、明らかに不合理といわなければなりません。よつて、われわれはここに、全市商店街の要望として、戦前と同様、特定割引制度を認められるよう、強く要請致します。

在日米軍余剩物資払下げの優良業者

推薦について

トラック、スクラップ。機械工具類。日用品、雑貨等在日米軍の余剩物資を国内に払下げる場合、入札に応じようとする優良業者登録推薦は全て当所より推薦するよう依頼を受けたので希望の方は当所に御相談されたし、詳細は事務局に。

御入会のおすゝめ

年間会費 個人 一口 七〇〇円
法人 一口 一、四〇〇円

商工業者の皆様こそつて入会致しましょう

山丸魚市場

宇都宮市小袋町
電話 6621~6
市外専用7

山丸魚市場足利営業所

足利市伊勢町
電話 3739・4910

山丸冷蔵製氷工場

宇都宮市小袋町
電話 2131



佐藤宇都宮市長元気に帰国

貴重な西独視察談

曩に日独青少年交歓使節団長として渡独した佐藤市長は約一ヶ月の視察を終え、九月二十九日多数の出迎えを受け羽田空港に帰着、左のような貴重な視察談を発表今後の市政運営に反影せしめん。

記

- 一、青少年育成施設の完備
- 一、公衆道徳の徹底
- 一、西独復興の基盤は勤勉と貯蓄、質素な生活態度等々

年末資金は

国民金融公庫へ

中小企業の皆さん長期・低利の政府資金を御利用下さい。

普通貸付

個人 五〇万円以内 長期月賦返済
法人 二〇〇万円以内 低利月利八厘 運転資金三年以内
設備資金五年以内

消費資金も借りられる恩給担保貸付

恩給担保貸付

事業資金 二〇万円以内 月利五厘
消費資金 一〇万円以内
国庫支弁・恩給・扶助料・遺族年金・県・市・町・村支弁・恩給・共済年金・扶助料
公共企業体共済年金等各受給者

更生資金貸付

半業資金 期間五年以内
限度五万円以内 引揚者・戦災者・
利率月利五厘 生活困窮者

遺族国債担保貸付……最寄りの福祉事務所に御相談下さい。
 引揚者国債担保貸付……市町村役場に御相談下さい。

宇都宮手形交換所

手形交換高及枚数

月別	枚数	金額
七月	一九、七二五枚	六、〇一七、一八八千円
八月	一八、二八八枚	五、五七〇、七六九千円
九月	二〇、〇二三枚	六、二五四、一七二千円

不渡手形枚数及金額

七月	二六枚	一、四七四千円
八月	三三枚	一、二五二千円
九月	三四枚	一、七五四千円

日商だより

第三、四半期の景気見通し

第三四半期は財政資金の巨額の支払超過で金融はかなり楽になり、目先き明るい気分も出て来ているが、事業会社の生産調整は、操短によるコスト高からハカバカしくすまず、輸出の見通しもパットせず、設備投資も減退するうえ一般大衆の所得、消費の面にソロ／＼デフレの影響が出てくるなど、景気回復の見通しはあまり明るくなく、財政面からの景気対策によつてどの程度中間景気的な様相が出てくるか問題だが、全般にはナベ底景気のまま今年を終ることにならうとの見通しが強い。

工具と鋼材

アラマキ

miyajimacho Utsunoniya

TEL. No. 3.726・6.021

第三、四半期の経済で最も問題とされるのは、金融がどの程度ゆるむかだが、これは財政の大巾払超で金融市場としてはかなり緩むことになりそうだ。まず財政の数字から見てゆくと、第三、四半期は三、二〇〇億円の大巾支払超過が予想されている。これは昨年同期の二、〇三〇億円を五割方上回り、米の豊作と輸出の伸びが重なつて戦後最高の払超となつた三〇年同期の二、八二四億円をも上回る大きなものである。だいたい第三、四半期は米代金の支払が集中して食管会計が大巾の払超となるほか、一般財政の支払もすゝむのでいつも払超となるのだが今年の場合例年に比べて特長とされるのは、一般財政の支払がとくに多いことである。

第三、四半期の財政資金は、外為会計が二〇〇億円の払超、食管会計が一、二〇〇億円の払超、一般会計が一、八〇〇億円の払超で、この一般会計払超額は前年の六三四億円三〇年の八四五億円をそれぞれ大きく上回つている。これは不況の滲透のため税收の伸びが鈍化してきているのに対して予算の歳出規模が年々大きくなつてきているためである。税收は昨年比べて一〇〇億円ほど少い見込まれるのに対して、支出の方ではさきの政府の景気対策のため、公共事業費や財政投融资関係の繰上げ支払が行われるからだ。又食管会計も米の豊作で昨年より一〇〇億円程多く、外為会計でも輸入の低調で毎月二、〇〇〇万ドルの黒字が見込めるから固くふんで二〇〇億円の払超が見込めるといふわけだ。一方経済界の現金需要を反映する日銀券は供給過剰の圧迫による事業活動の停滞がつく結果、期中一、七五〇億円程度の増発にとどまるとみられ、銀行の手もとは差引き一、四五〇億円程余裕ができて、これだけが日銀借入金金の返済にあてられる見込みである。この日銀借入減少額は三〇年同期の一、一一五億円よりも大きいがお年末三、五〇〇億円ほどの借入残高が残る計算であり、この圧迫のためとくに都市銀行にあつてはそれほど手許がゆるむという感じはないようだ。しかしともと日銀借入の少い地方銀行や米代金の流入でうるおう農林中金はかなりの余裕金を生ずることとなるので、日銀としてもこれがムダな方向に流れないため売オペレーションで直接その一部を吸上げる方策をとることとなる。

さて第三、四半期の資金需要であるが、これは例年季節的に内需が活版となる時期だけに、これまでと比べると全体としての需要は増大するであろう。しかし需要の内容に立ち入つてみると、かなり変つた姿をとることとなる。というのは事業会社の生産活動や商取引が沈滞のまま推移するため設備拡張や原材料買入れといった直接企業に関連してくる資金はそれほど増えず、その代りに季節的な増率の大きい消費資金と、政府の財政投資がふえ、これが全

体としての需要を支えるという姿をとるだろう。公共事業費や財政投融资につながる政府事業の支出などが中心となるわけだ。このように人為的に需要を支えられるから、第三、四半期はこれまでの供給過剰がさらにすゝむことはないとしても実態の悪いまゝ横ばいという形になりそうだ。企業の採算は相当悪化しているから九月期決算は前期と比べて一割方悪化が予想されているし、不渡手形や企業の倒産、失業者発生などはいまはそれほど目立つた変化はないが、企業の実態悪化に伴って今後の動向が心配されている。要するに第三、四半期については目先き金融は緩和しても経済実態は悪く、政府の景気対策もカンフル注射的な意味しか持たないだろうから、企業は低姿勢で生産調整能力をつみ上げ、体質改善につとめる事が必要であろう。

まだまだ不安な外貨準備高

八月の輸出入信用状に従来の最高の黒字を記録し、七月末の外貨準備高は七億三千九百万ドルとなつて、昨年九月の最低時からみると二億八千四百万ドルもふえている。

しかし輸出の前途はまだ楽観を許さず、大蔵省、日本銀行でもいまの外貨準備高はまだ不十分だとの意見が強い。

昨年十二月末の外貨準備高五億二千四百万ドルは卅二年の輸入の一月半分にしか当らないが、諸外国の同じ時期の例をみると、アメリカは廿二月分、西ドイツは九ヶ月分、イタリヤは五ヶ月分、英国四ヶ月分、ベルギー四ヶ月分とみなかなりの余裕をもっており日本はまだまだ低い。

それに最近の国際収支の黒字は輸入の減退によるものだが、八月の輸入信用状開設高は一億三千九百万ドルで卅年七月以来の最低であり、この水準がいつまでつくわけのものではない。いわば国内のひどい不況のおかげで外貨がたまっているわけだが、景気がちよつとでも上向けば外貨準備もすぐ不安になる性質のものであり、いまのうちに、もつと安心できるだけの外貨の蓄積をしておくことが必要だとされている。

事務局だより

会議その他

八月 一日 発明相談 堀田先生

二日 中小企業マネージメント視察団懇談会開催
講師 オパール機械工業社長 加島氏

那 須 温 泉

山 丸 莊

電話 (那須) 2 5 6 6

宇 都 宮 市 上 河 原 町

旅 館 山 丸 莊

電話 2 1 1 3 4
2 2 1 1 4

鉄道機器株式会社々長 植村氏

- ✓ 七日〜十一日迄 夏まつり開催
- ✓ 十二日 警察当局との懇談会開催
警察署長外三名、当所上野会頭外各議員、商店街代表
- ✓ 二十六日 珠算合格者賞状授与式開催
- ✓ 二十七日 照明巡回指導開催 雀宮地区
- ✓ 二日 商業奈打合会開催
- ✓ 五日 発明相談 堀田先生
- ✓ 十日 栃木県商工会議所連合会事務局長会議開催
秋期行事打合会開催、(商工会議所商業部会及商店街役員)
- ✓ 十日〜十一日 紳士服新作展示会開催
- ✓ 十三日 宇都宮商工会議所会計監査施行
- ✓ 十三日〜十四日 見本市展示会開催 スポーツセンター
珠算指導者夏期講習会開催 日光市田母沢講師 日本商工会議所中央珠算技術委員 奥村恒夫先生
- ✓ 十八日 見本市反省会開催
- ✓ 十九日 宇都宮商工会議所常議員会開催
定期議員総会開催
- ✓ 二十五日 宇都宮商工会議所金融部会開催
- ✓ 二十七日 商業活動調整協議会開催
- ✓ 二十八日 第九回和文タイピスト技能検定試験開催
- ✓ 二十九日 栃木県商工会議所連合会運営に関する打合会開催

人事往來

八月一日 宇都宮郵便局長太田彦市氏新任あいさつに

來所

三日 宇都宮信用金庫新築落成式、上野会頭、藤

生局長出席、議員有志にて祝金呈上

四日 青年会議所午さん会、上野会頭、藤生局長

出席
栃木電気通信部長山下太一氏退任あいさつ

に來所

六日

出發につき藤

生局長会頭代理にて見送

小袋町街灯灯入式に五味事務出席

七日 「あんどんまつり」審査、藤生局長、野沢、

神山氏出席

飯田商工会議所議員丸山治郎氏外九名視察

に來所

九日

相生町共同ビル建築組合上棟式に上野会頭

藤生局長出席

栃木電気通信部長渡辺順平氏新任あいさつ

に來所

十二日

三楽園児童栗谷沢へキャンプにつき上野会

頭菓子寄贈

十七日

具塗装看板組合創立総会に上野会頭出席

十八日~二十五日 迄全国商工会議所職員研修会に藤生

局長出席

二十一日

本日付にて十一月二十二日~二十四日迄開

催の第一回栃木県畜産共進会に上野会頭顧

問に推せんされる

二十四日

宇都宮市長渡欧壮行会に上野会頭、五味專

務、野沢部長（藤生局長代理）出席

二十五日

宇都宮法人会総会に上野会頭出席

二十六日

宇都宮専門店会慰安会審査員として藤生局

長出席

二十八日

佐藤市長渡欧につき上野会頭、藤生局長見

送

栃木食糧事務所長馬場二葉氏転任あいさつ

に來所

九月一日

食糧事務所長転任につき会頭代理にて野沢

部長見送

11

二日

本日より二ヶ月間簿記講習会開講式

四日

竹石議員御令室告別式に上野会頭、藤生局

長、野沢部長參列

上野会頭日光線電化期成同盟会委員を委嘱

せらる

馬場町商店街水銀塔建設のため東京都親察

小川職員随行

五日 基準監督署「年少者の声をきく会議」に藤

生局長出席

六日 協和銀行宇都宮支店新築落成式に上野会頭

代理藤生局長出席

野田商店街大貫正夫氏外五名現察に來所

八日 館山商工会議所野呂智一事務外五名視察に

來所

横浜市西区商店街一行五十名視察に來所

九日 国際連合通信社五木田重治氏來訪

十一日 紳士服新作展示会に於て上野会頭顧問に推

せんさる

十三日~十四日 珠算指導者夏期講習会に小川職員、出

席

十六日 年少者労働者福祉増進連絡協議会の設置に

ついて藤生局長出席、労働基準監督署に於

て

十七日 第四十五回日商常議員会、第十九回日商議

員総会

第八回通常会員総会、上野会頭出席

大谷平和観音例祭協力委員会に藤生局長出

席

十八日 第八回通常会員総会、商工会議所制度八十

周年記念式に河合副会頭出席

十九日 五味事務理事退任につき藤生事務局長事務

理事に就任

福島青年会議所員約二十名宮市視察に來所

昭和三十三年度猷魂慰靈祭、優良店員の表

彰式に藤生事務理事出席

警城商工会議所会頭草野庄平氏外七名宮市

商店街視察に來所

二十五日 台東区下谷商店街役員一行四〇名宮市視察

に來所

関東信越派遣監察署国税庁監察官緑川氏あ

いさつに來所

二十九日 日本専売公社宇都宮地方局総務部長大野源

吾氏転任あいさつに來所

三十日 藤生専務理事上野会頭代理にて宇都宮へル
 スセンター竣工式に出席

竹石議員夫人ヤスさん急逝

九月四日市内妙金寺でしめやかに葬送花輪供呈上野会頭
 外多数参列弔意を表す。

消費物資市場小売価格調査表

(昭和三十三年八月十日現在)

区分	品目	単位	価格	区分	品目	単位	価格	区分	品目	単位	価格
(イ) 主食	精米(ヤミ)	1升	135	野	玉ねぎ	100匁	6	料	食塩	1キロ	20
	もち米	〃	140		里芋	〃	20		砂糖	100匁	50
	精麦	〃	55		南瓜	〃	6		食用油	1合	33
	小麦粉	1貫	200		きうり	〃	18		(加工食料品)	豆腐	1丁
小食パン	1斤	30	なす	〃	8	こんにゃく	100匁	100			
うどん	100匁	20	まなこ	〃	7	あじふ	1本	20			
			ほうれん草	〃	1	りんご	100匁	10			
(ロ) 豆類及	大豆	1合	12	(イ) 畜産食糧品	肉	〃	187	(ト) 嗜好品	りんご	〃	20
	あづき	〃	19		豚肉	〃	150		かき	〃	25
	かんしよ	1貫	60		鶏肉	〃	150		ラム	〃	20
	ばれいし	〃	60		牛乳	1合	10		メー	〃	835
	大豆	100匁	5		鶏卵	100匁	95		ード	1合	125
	ぼうじん	〃	10		バター	1箱	170		アイ	1合	33
	ぼんじ	〃	15		粉	1かん	280		緑紅	1合	150
	んじ	〃	10						調味	100匁	150
	んじ	〃	10								
	んじ	〃	10								

区分	品目	単位	価格	区分	品目	単位	価格
(イ) 主食	精米(ヤミ)	1升	130	野	玉ねぎ	100匁	10
	もち米	〃	140		里芋	〃	15
	精麦	〃	60		南瓜	〃	1
	小麦粉	1貫	200		きうり	〃	52
(ロ) 豆類及	小麦粉	1斤	30	(イ) 畜産食糧品	なす	〃	20
	小食パン	1斤	30		まなこ	〃	25
	うどん	100匁	20		ほうれん草	〃	30
					白	〃	15
	大豆	1合	12		肉	〃	187
	あづき	〃	19		豚肉	〃	150
	かんしよ	1貫	60		鶏肉	〃	150
	ばれいし	〃	60		牛乳	1合	10
	大豆	100匁	10		鶏卵	100匁	100
	ぼうじん	〃	15		バター	1箱	170
ぼんじ	〃	18	粉	1かん	280		

区分	品目	単位	価格	区分	品目	単位	価格
(イ) 主食	精米(ヤミ)	1升	130	野	玉ねぎ	100匁	10
	もち米	〃	140		里芋	〃	15
	精麦	〃	60		南瓜	〃	1
	小麦粉	1貫	200		きうり	〃	52
(ロ) 豆類及	小麦粉	1斤	30	(イ) 畜産食糧品	なす	〃	20
	小食パン	1斤	30		まなこ	〃	25
	うどん	100匁	20		ほうれん草	〃	30
					白	〃	15
	大豆	1合	12		肉	〃	187
	あづき	〃	19		豚肉	〃	150
	かんしよ	1貫	60		鶏肉	〃	150
	ばれいし	〃	60		牛乳	1合	10
	大豆	100匁	10		鶏卵	100匁	100
	ぼうじん	〃	15		バター	1箱	170
ぼんじ	〃	18	粉	1かん	280		

編集後記

第二十一号、第二十二号台風の被害は東京、静岡をはじめ
 廿数都道府県に於て特に甚大なので、被災地に対し予算
 補正による災害費の支出、公共事業費の繰上げ支出等によ
 つて速かに災害復旧の措置を講ずると共に、被災地商工業
 者(中小企業者)の窮状打開のため左の様な対策を講ぜら
 るる様日本商工会議所と同調関係当局に要望せり。

- 一、手形の決済期間延期等の特別措置
- 二、金融機関に対し特別融資枠の開設、条件の緩和、低
 金利、手続簡便化等の特別措置
- 三、租税の減免、徴収猶予等の特別措置
- 四、一、天災による被害中小企業者に対する資金の融通に
 関する暫定措置法」の制定
- 五、予算補正措置

(昭和三十三年九月十日現在)